

2025 年 8 月 14 日



株式会社グラッドキューブ

2025 年 12 月期第 2 四半期（中間期）決算説明動画書き起こしレポート

動画撮影日：2025 年 8 月 14 日

登壇者：代表取締役 CEO 金島 弘樹

※本説明会動画において、生成 AI を使った実写版の動画を使用しております。

2025 年 8 月 14 日に発表された、株式会社グラッドキューブ 2025 年 12 月期 第 2 四半期（中間期）決算説明動画の内容を書き起こしでお伝えします。

2025年12月期
第2四半期(中間期)

決算説明資料

株式会社グラッドキューブ(証券コード 9561)

2025年8月14日

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

これより、2025 年 12 月期第 2 四半期、株式会社グラッドキューブ決算補足説明を行います。どうぞよろしくお願いたします。

1. トピックス SPAIA, Inc.

2025 年 5 月 21 日に米国デラウェア州に海外子会社として、現地法人「SPAIA, Inc.」を設立しました
SPAIA, Inc.は、グローバルなスポーツベッティング市場をターゲットとし、従来にない新たな視点から、最先端のAIテクノロジーを取り入れたサービスを提供することで、同市場における確固たる地位の確立を目指します

会社名

SPAIA, Inc.

代表者

最高経営責任者 (CEO) 金島 弘樹

設立

2025年5月21日

本社

米国 デラウェア州セント郡ドーバー市
(拠点はネバダ州 ラスベガスに設置予定)

事業内容

■ グローバル競馬AI予想プラットフォーム事業

海外競馬ブックメーカー提供による馬券購入手数料収入、グローバル競馬情報メディア、AI競馬予想、そして競馬データRAGシステムを軸に、多角的な競馬ビジネスを展開

また、海外競馬市場へ独自開発のLLM（大規模言語モデル）と画像知能技術を駆使し、グローバル市場における新たな競馬予想サービスを展開

ロゴ



(新ロゴに込められた想い)

4つの色彩が強く輝く輝きに、SPAIAの本質が宿る
S - Success, Scale, Sports, Smart
P - Prediction (予測) の力を表現
AI - AI, Analyse 人工知能・Analysis (分析) 技術
A - Advance (前進) と進歩

縦横に配置された馬蹄のデザインは、私たちのAIがどのように機能するかを示しています。データが流れ、学習し、機能的に進化します。また、これらの要素がどのように連携し、より高いレベルに発展していくかを表現しています。 馬を背景にした4つの輝やかな色は、SPAIAの役割を表現しています。私たちは膨大な競馬データから馬券への明確な道筋を見つけ出します。



SPAIA, Inc. CEO
HIROKI KANESHIMA

金融機関に就いた後、2007年1月に合同会社グ
ラッドキューブを創業
2008年に株式会社化し、数々のサービスやプロ
ダクトを生み出し2019年には、SPAIAが総務省主
催の「真能ジェネレーションアワード」で分野賞
を受賞
2022年9月に東京証券取引所グロース市場へ上場
米国におけるベッティング市場の考察を深め、
国内の人気サービスであるSPAIAを米国で展開す
べくSPAIA, Inc.を設立



COO
MIKE UESUGI

Apple社にてOSシステムエンジニア、IBM社にてシ
ニア・システム・エンジニア・マネージャーを歴任
その後、Global Micro Solutions社を設立し、CEO /
Founderとして経営に携わる
Social Rewards社を共同設立し、CTO / Co-
Founderとして技術部門を統括
2016年、株式会社グラッドキューブの社外取締役に
就任



CTO
RAPHAEL MEZGARI

エコー・サントラル・パリにてコンピュータサイエ
ンス修士号を取得
大学在学中にHappysalada社をCEO / Founderとし
て創業
その後、Bebo社にて開発者として従事2015年より、
株式会社グラッドキューブの技術顧問に就任し、現主
なるその社を築める。2018年からはUnion社にて最高技
術責任者(CTO)として就任
その後、Vrakent社にてシニア開発者、現在はTower
Research Capital社にてシニア開発者として従事



CMO
GREG CANNON

Caesars EntertainmentやThe Madison Square Garden
Companyといった世界大手のエンタープライズレベル
のマーケティングプロジェクトを統括
現在は、スポーツ&エンターテインメントマーケティング
の会社としてInterstate15社を共同設立し、CEOとして従事
また、ラスベガスで最も成功のある広告代理店の1つで
あるVirgin Advertising社を創設しFounderとなり、
Circa Resort & Casino社、スポーツベッティングメディ
アブランドであるVSN社、そしてDaily Racing Form社
を含む、ゲーミングおよびエンターテインメント業界の
主要クライアントのブランドおよび成長戦略を統括し、
その他でもラスベガス政府アドバイザーの諮問委員や電
子の新興エンターテインメントやテクノロジーベンチャ
ーの顧問に就任



CRO
JOSEPH MORIN

Equitymind Ventures社では、マネージングディレク
ターとして、スタートアップ企業の資金調達・提供支
援を担当
Social Rewards社では、Co-Founderとして「Selfie
with Me」などを開発、Travelzoo社、Bonnet Search
Marketing社、UsedCars.com社、AutoWeb社では、
設計者などとして、マーケティング全体を統括管理
Alou社、SecureMac社やExpert Desktopでは、ボード
メンバーとして、スタートアップのアドバイザーや成
長支援を担当
その他でも、Chapman大学において、起業家育成の
メンターとして活動

2025 年 12 月期第 2 四半期のトピックスの説明になります。
2025 年 5 月 21 日に米国デラウェア州に海外子会社として、現地法人「SPAIA, Inc.」を設
立しました

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

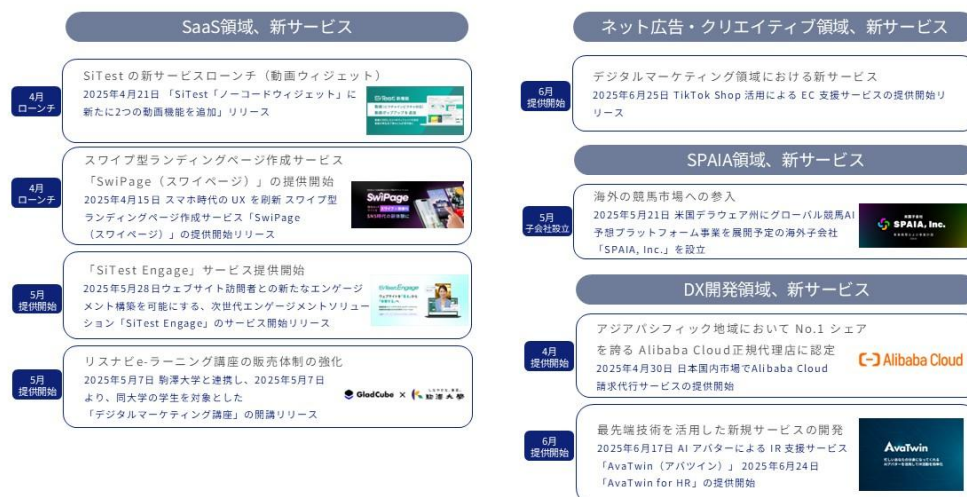
SPAIA, Inc.は、グローバルなスポーツベッティング市場をターゲットとし、従来にない新たな視点から、最先端の AI テクノロジーを取り入れたサービスを提供することで、スポーツベッティング市場における確固たる地位の確立を目指します。

まずは、海外競馬市場において、グローバル競馬 AI 予想プラットフォーム事業の展開を進めていく考えであります。

まもなく、グローバル競馬 AI 予想プラットフォームをローンチいたしますので、改めて株主の皆さまにはお知らせいたします。

1. トピックス 新プロダクト・新サービス

2025年12月期2Q（4月～6月）にリリースした新プロダクト・新サービス



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

5

2025 年 12 月期第 2 四半期のトピックス、新プロダクト・新サービスの説明になります。
SaaS 領域の新サービスについて、4 月に SiTest の新サービスをローンチ。同じく 4 月にスワイプ型ランディングページ作成サービス、SuiPage の提供を開始いたしました。5 月に SiTest エンゲージサービスの提供を開始いたしました。同じく 5 月に駒澤大学と連携し、2025 年 5 月 7 日より、駒澤大学の学生を対象としたデジタルマーケティング講座の開講をいたしました。

ネット広告、クリエイティブ領域の新サービスについて、6 月に TikTok Shop 活用による EC 支援サービスの提供を開始いたしました。

SPAIA 領域について、5 月に米国デラウェア州に海外子会社として、現地法人「SPAIA, Inc.」を設立し、グローバル競馬 AI 予想のプラットフォーム事業の展開を進めております。
DX 開発領域の新サービスについて、4 月に、日本国内市場でアジアパシフィック地域において No.1 シェアを誇るアリババクラウドの請求代行サービスの提供を開始いたしまし

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

た。6月には、AI アバターによる IR 支援サービス、AvaTwin、および AvaTwin for HR の提供を開始いたしました。

今後も、私たちは既存事業の枠組みに捉われることなく、未来のスタンダードとなる新サービスを創造し、新たな市場を開拓してまいります。これらの新事業を次の収益の柱へと育成することで、非連続な成長を実現し、持続的な株主価値向上をはかってまいります。

2. エグゼクティブサマリー



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

7

2025 年 12 月期、第 2 四半期決算ハイライトの説明になります。

2025 年 12 月期、第 2 四半期における売上高は 8 億 6 千 3 百万円となり、前年実績をプラス 10.9%上回って推移し、計画に対してはプラス 5.0%と計画を上回り堅調に推移いたしました。また、第 2 四半期では過去最高の売上高を更新いたしました。

マーケティング DX 事業部の売上高については、顧客エンゲージメントを高めたことで、顧客単価が向上したことや SaaS のツール販売、コンサル及び制作サービスが好調により、計画比をプラス 9.1%と超過いたしました。

いっぽう、テクノロジー事業部の売上高については、SPAIA 競馬においては有料会員数の減少、そして DX 開発において、開発案件の一部が中止となったことや相手先の理由により開発延期となったことが主の要因となり、計画を下回る結果となりました。

2. 業績推移



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

8

2025 年 12 月期第 2 四半期決算ハイライト業績推移の説明です。

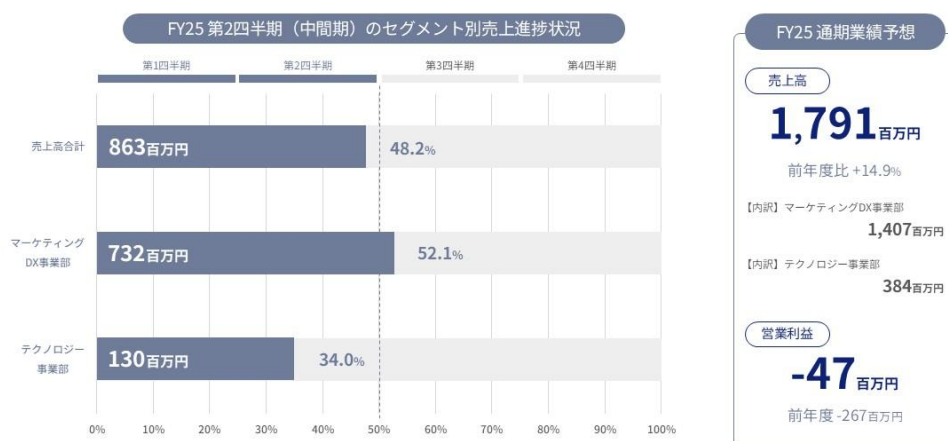
こちらのグラフは、四半期ごとの売上高および営業利益のグラフとなります。

売上高については、過去の第 2 四半期において過去最高の売上高を記録しました。

営業利益については、昨年度から続く赤字から回復傾向にあります。

今期は、V 字回復を目標におき、黒字化の達成に向けて取り組んでまいります。

2. セグメント別 売上進捗状況



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

9

2025 年 12 月期第 2 四半期決算セグメント別売上進捗の状況の説明になります。

全体の売上としましては、進捗率 48.2%となり、第 2 四半期の計画比ではプラス 5.0%と堅調に推移しました。

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

マーケティング DX 事業部においては、進捗率 52.1%となり、第 2 四半期の計画比ではプラス 9.1%となりました。これは、顧客エンゲージメントを高めたことで、顧客単価が向上したことや SaaS のツール販売、コンサル及び制作サービスが好調により、計画を上回り進捗いたしました。

テクノロジー事業部において、進捗率は 34.0%、第 2 四半期の計画比については、マイナス 13.0%となりました。これは、SPAIA 競馬においては有料会員数の減少、DX 開発においては開発案件の一部が中止となったことや相手先の理由により開発延期となったことが主の要因となり、計画を下回る結果となりました。

2. ビジネスハイライト

	2024年12月期 第2四半期（中間期） 累計		2025年12月期 第2四半期（中間期） 累計	前年同期比
売上高	778百万円	>	863百万円	+10.9%
売上総利益	647百万円	>	593百万円	- 8.2%
営業利益	-105百万円	>	-49百万円	—
経常利益	-108百万円	>	-52百万円	—
中間純利益	-85百万円	>	-52百万円	—

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

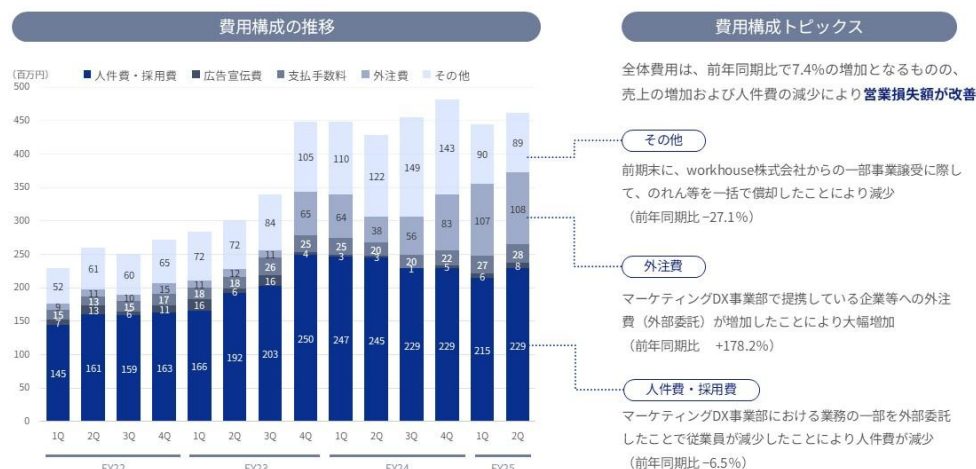
10

第 2 四半期の業績は、売上高は 8 億 6 千 3 百万円となり、前年実績をプラス 10.9%と、順調に伸長いたしました。

利益面におきましても、営業損失、経常損失および四半期純損失は、前年同期比で赤字幅が縮小し、収益性は着実に改善しております。

通期での黒字化達成を必達目標と位置づけ、下期は事業基盤のさらなる強化に邁進してまいります。

2. 費用構成の推移



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

11

2025 年 12 月期第 2 四半期費用構成の推移についての説明になります。

全体費用については、前年同期比で 7.4% の増加となるものの、売上の増加および人件費の減少により営業損失額が改善いたしました。

詳細につきましては、まず人件費については、マーケティング DX 事業部における業務の一部を外部委託したことにより新規採用費が減少し、前年同期比マイナス 6.5% となりました。

外注費において、マーケティング DX 事業部で提携している企業等への外注費が増加したことにより、前年同期比プラス 178.2% の増加となりました。

その他につきましては、前期末に、ワークハウス株式会社からの一部事業譲受に際して、のれん等を一括で償却したことにより、前年同期比 マイナス 27.1% となりました。

5. 業績概況 ― B/S



高いキャッシュポジションを維持し、
自己資本比率31.5%と安定した財務基盤を確立

更なる事業拡大と企業価値の最大化を追求

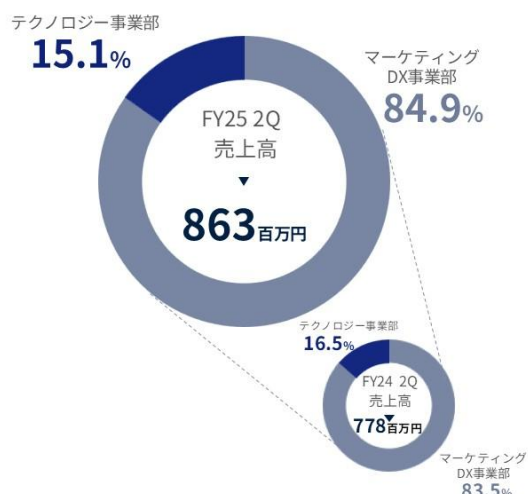
Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

12

2025 年 12 月期第 2 四半期の業績状況についての説明になります。

当社は、予てより、高いキャッシュポジションを維持し、自己資本比率 31.5%と安定した財務基盤を確立しております。この安定した財務基盤を礎とし、今後は更なる成長に向けた戦略的投資を積極的に実行することで事業拡大を加速させ、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

3. 事業部別 決算ハイライト



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

14

2025 年 12 月期第 2 四半期事業別の決算 ハイライトの説明です。

マーケティング DX 事業部の売上高については、SiTest のツール販売、コンサルおよびサイト制作が好調でありました。また、マーケティング DX 事業部全体において顧客エンゲ

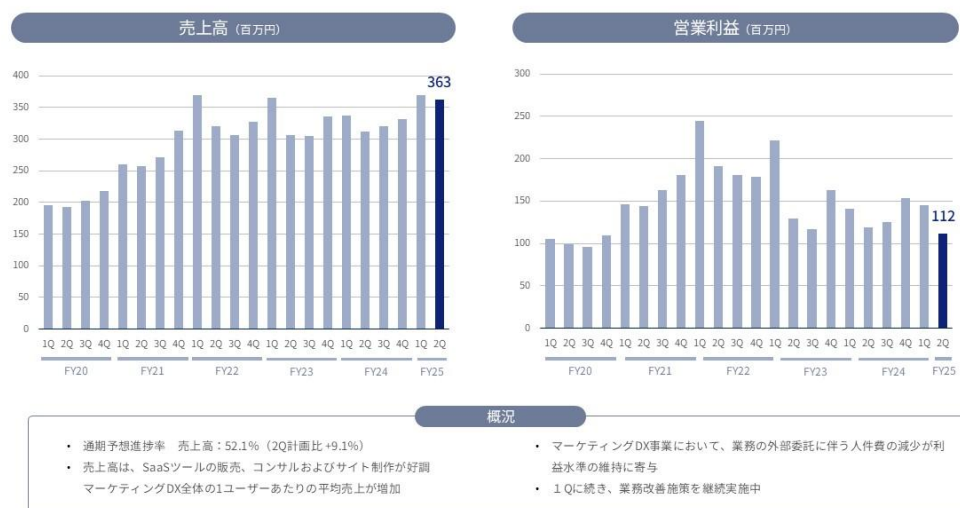
本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

ージメントを高めたことで、顧客単価が向上いたしました。

これらにより、売上高は7億3千2百万円と順調に伸長し、計画比についてはプラス9.1%と想定を大きく上回り推移いたしました。

テクノロジー事業部の売上高については、SPAIA 競馬においては有料会員数の減少、DX開発においては開発案件の一部が中止となったことや相手先の理由により開発延期となったことが主な要因となり、売上高は1億3千万円となり、計画比においてはマイナス13.0%となりました。なお、前年同期比ではプラス2.0%と増加し、成長曲線を維持しております。右側の売上高の構成比は、ご覧の通りです。

3-1. マーケティングDX事業部 業績



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

16

マーケティング DX 事業部のハイライト説明になります。

マーケティング DX 事業部の通期予想に対する売上高の進捗率は 52.1%となり、計画比ではプラス 9.1%と想定を上回りました。これは、SaaS ツールの販売、コンサルおよびサイト制作が好調であったことやマーケティング DX 全体の 1 ユーザーあたりの平均売上の増加が主の要因であります。

マーケティング DX 全体の営業利益は、業務の外部委託に伴う人件費の減少が利益水準の維持に寄与いたしました。また、第 1 四半期から継続している業務改善施策も寄与し、更なる営業利益の向上に努めております。

3-1. マーケティングDX事業部 KPIの推移



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

17

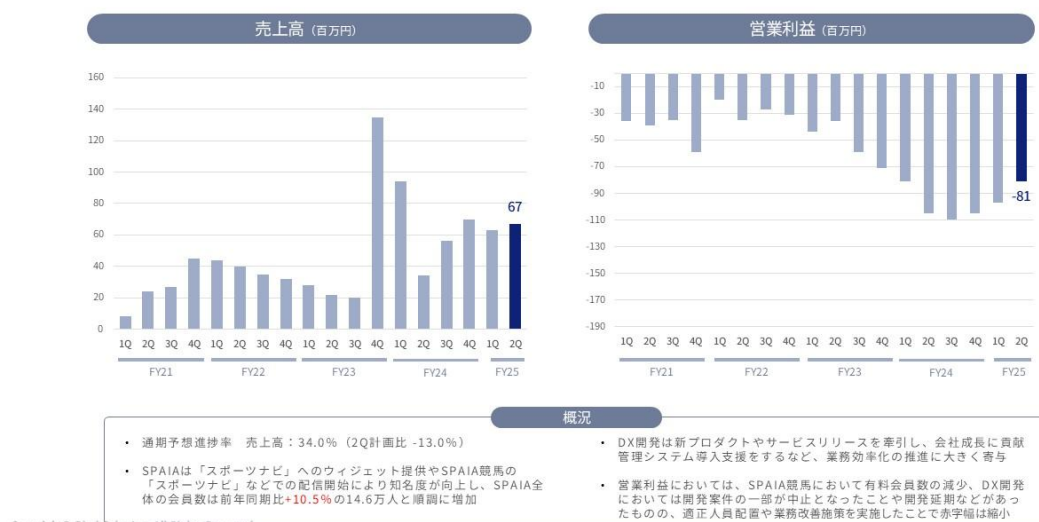
マーケティング DX 事業部 KPI の推移の説明です。

まず、一番左側のグラフは、SaaS およびネット広告における、四半期ごとの平均稼働アカウント数の推移を示しています。当四半期のアカウント数は、新規顧客の減少と解約率の増加が重なった影響で、アカウント数が一時的に減少いたしました。なお、前年四半期比プラス 3.4%と順調に増加しております。

続いて、真ん中のグラフは、自社プロダクト SiTest の四半期ごとの平均解約率推移になります。カスタマーサクセス強化により、3.0%と低水準を維持しております。

最後に、右側のグラフは、SaaS の四半期ごとの ARPU 推移となります。新機能・新サービス追加や顧客エンゲージメントを高めたことで ARPU が向上し、過去最高の 106,374 円となりました。

3-2. テクノロジー事業部 業績



19

テクノロジー事業部のハイライト説明になります。

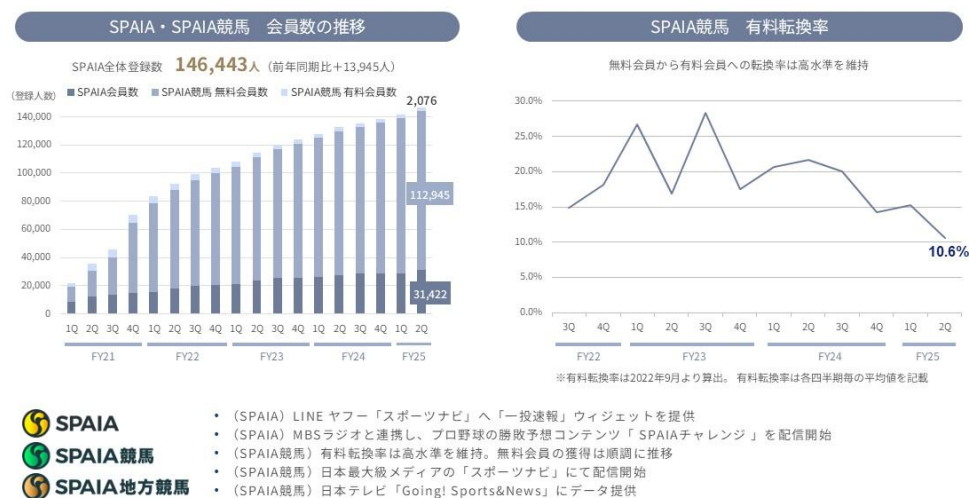
テクノロジー事業部の通期予想に対する売上高の進捗率 34.0%となり、第2四半期の計画比ではマイナス 13.0%となりました。

計画を下回った要因としましては、SPAIA 競馬においては有料会員数の減少、DX 開発においては開発案件の一部が中止となったことや相手先の理由により開発延期となったことでもあります。計画比においてはマイナス 13.0%となりました。

なお、前年同期比ではプラス2.0%と推移しており、成長曲線を維持しております。また、DX 開発においては、新プロダクトやサービスリリースを牽引し会社成長に貢献したことや管理システム導入支援をするなど、業務効率化の推進に大きく寄与いたしました。

また、営業利益については、適正人員の配置や業務改善施策を実施したことで赤字幅は縮小し、回復傾向にあります。

3-2. テクノロジー事業部 SPAIA・SPAIA競馬 KPIの推移



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

20

テクノロジー事業部 SPAIA・SPAIA 競馬 KPI の推移についての説明です。

テクノロジー事業部の SPAIA では、LINE ヤフーのスポーツナビへの一投速報ウィジェット提供、MBS ラジオとの連携によるプロ野球勝敗予想コンテンツ SPAIA チャレンジの配信開始を実施いたしました。また、SPAIA 競馬においては高水準の有料転換率を維持しつつ無料会員の獲得も順調に推移したことや、日本最大級メディアである「スポーツナビ」での配信開始、日本テレビ「Going! Sports & News」にデータの提供をいたしました。

これらの結果、SPAIA 全体の会員数は、前年同期比プラス 10.5%の 14 万 6 千人と順調に増加いたしました。また、SPAIA 競馬の有料転換率については、10.6%と無料会員から有料会員への転換率は高水準を維持しております。

4. 成長戦略 マーケティングDX事業部

既存事業の枠を超え、事業間シナジーを最大化し、 新たな価値を創造

SaaS領域、新サービス	ネット広告・クリエイティブ領域、新サービス
SiTest の新サービスローンチ（動画ウィジェット） 2025年4月21日「SiTest「ノーコードウィジェット」」に新たに2つの動画機能を追加しリリース 4月ローンチ リスナビe-ラーニング講座の販売体制の強化 2025年5月7日 駒澤大学と連携し、2025年5月7日（水）より、同大学の学生を対象とした「デジタルマーケティング講座」の開講リリース 5月提供開始 転職支援サービスの拡充 パートナーとの関係性を強化し、市場の更なるシェアの獲得 スワイプ型ランディングページ作成サービス 「SuiPage（スワイページ）」の提供開始 2025年4月15日 スマホ時代の UX を刷新 スワイプ型ランディングページ作成サービス「SuiPage（スワイページ）」の提供開始リリース 4月ローンチ 「SiTest Engage」サービス提供開始 2025年5月28日ウェブサイト訪問者との新たなエンゲージメント構築を可能にする、次世代エンゲージメントソリューション「SiTest Engage」のサービス開始リリース 5月提供開始	パートナー企業と連携強化を行い、大型広告案件の獲得強化 デジタルマーケティング領域における新サービス デジタルマーケティング領域における新サービス 2025年6月25日 TikTok Shop 活用による EC 支援サービスの提供開始リリース 6月提供開始 広告クライアント成果拡大のためのクリエイティブ制作体制の強化 クリエイティブ領域における新サービス 「縦型ショートドラマ制作サービス」 ローンチ 2025年2月17日「縦型ショートドラマ制作サービス「Dra Vis（ドラビス）」」の提供開始に関するお知らせリリース 2月ローンチ

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

22

成長戦略および中期成長イメージの説明になります。

マーケティングDX事業部における、2025年4月から6月の第2四半期中にリリースした新プロダクト、新サービスの説明について、冒頭でも説明させていただきましたので割愛させていただきます。改めて皆さまの方でご確認いただきたくお願いいたします。

4. 成長戦略 テクノロジー事業部

テクノロジーカンパニーとしての基盤を確立し 「スポーツ×データ×AI」の力で新しい価値を創造

SPAIA、UI/UX領域	DX開発領域、新サービス
DRAGON DATA CENTERの成長に向けた国内外のデータ提供先を創出 2025春から夏にかけてSPAIA競馬Webのリニューアルを予定（UI/UX改善） 2025夏から秋にかけてSPAIA地方競馬Webのリニューアルを予定（UI/UX改善） SPAIA競馬におけるBtoBでの新たな収益を創出 2025年2月5日「LINEヤフー「スポーツナビ」へ「一球速報」ウィジェットを提供」リリース 2月提供開始 海外の競馬市場への参入 2025年5月21日 米国デラウェア州にグローバル競馬AI予想プラットフォーム事業を展開予定の海外子会社「SPAIA, Inc.」を設立 5月子会社設立	SI営業体制の構築 安定した受託開発に向けた体制強化 社内システムの最適化と業務効率化を推進し、生産性を向上 最先端技術を活用した新規サービスの開発と受託開発の拡充 2025年6月17日 AI アバターによる IR 支援サービス「AvaTwin（アバツイン）」 2025年6月24日「AvaTwin for HR」の提供開始 6月提供開始 大手グループ会社と生成AIに関する共同開発 アジアパシフィック地域において No.1 シェアを誇る Alibaba Cloud正規代理店に認定 2025年4月30日 日本国内市場でAlibaba Cloud請求代行サービスの提供開始 4月提供開始

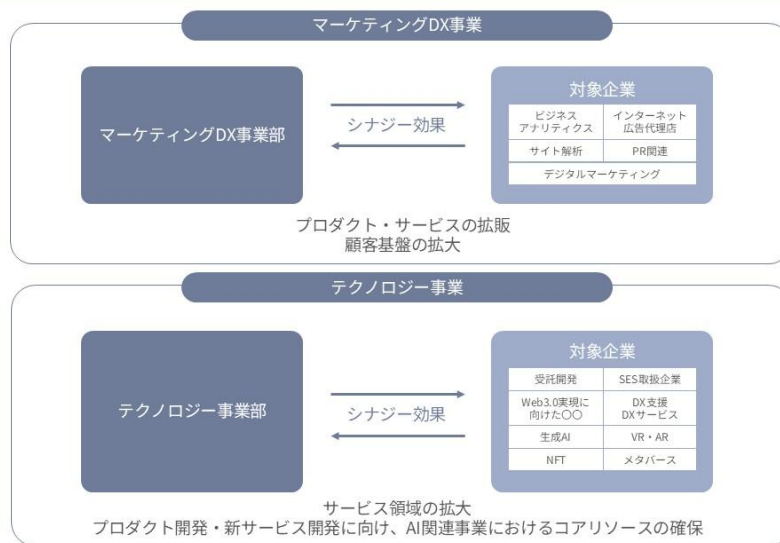
Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

23

テクノロジー事業部における、2025年4月から6月の第2四半期中にリリースした新プロダクト、新サービスの説明についても、冒頭でも説明させていただきましたので割愛させていただきます。改めて皆さまの方でご確認いただきたくお願いいたします。

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

4. 業務資本提携・M&Aに向けた取り組み



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

24

業務資本提携・M&A に向けた取り組みについて、記載の通り、シナジー効果が期待される企業に絞り、調査および交渉を進めております。

4. 成長戦略 進捗状況

売上100億円以上の目標に向け、順調に新サービスをローンチ・サービス提供開始
新領域（米国市場）への参入

今期の新サービスのローンチ・サービス提供開始状況

- ✓ (2月) 縦型ショートドラマ制作サービス「Dra Vis (ドラビス)」の提供開始
- ✓ (4月) スワイプ型ランディングページ作成サービス「SwiPage (スワイページ)」の提供開始
- ✓ (4月) SiTest「ノーコードウィジェット」に新たに2つの動画機能を追加
- ✓ (4月) Alibaba Cloudの正規販売代理店として、国内市場における請求代行サービスの提供開始
- ✓ (5月) 「SiTest Engage」サービスサービス提供開始
- ✓ (6月) AI アバターによる IR 支援サービス「AvaTwin (アバツイン)」、HR支援サービス「AvaTwin for HR」の提供開始
- ✓ (6月) TikTok Shop 活用による EC 支援サービスの提供開始

今期の新領域（米国市場）への参入状況

- ✓ (5月) 米国デラウェア州にグローバル競馬AI予想プラットフォーム事業を展開予定の海外子会社「SPAIA, Inc.」を設立

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

25

成長戦略の進捗状況についての説明となります。

記載の通り、売上 100 億円以上の目標に向け、順調に新サービスをローンチ・サービス提供開始および米国市場での事業展開などの新領域へ参入いたしました。

改めて皆さまの方でもご確認いただきたくお願いいたします。

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

4. 成長イメージ ～グラッドキューブ、AI テクノロジーで世界市場をリードする企業へ～



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

26

成長イメージについて説明いたします。

グラッドキューブは、いままで培ってきた、ネット広告、SaaS、リスナビ等の人材支援、SPAIA、DX 開発、アリババクラウドサービスという 6 つの事業領域をベースに、革新的な AI テクノロジーによるプロダクト等を統合することで、企業価値の飛躍的な向上を目指してまいります。

また、AI テクノロジーを事業成長の核とした、国内外で積極的な事業展開を加速させていくことで、グローバル市場におけるプレゼンスを確立します。そして、AI テクノロジーを駆使し、成長の著しい市場において事業を展開することで、持続的な成長を実現します。積極的な技術革新と新規事業への挑戦を通じて、新たな市場を創造し、AI テクノロジーを牽引する企業として、世界へ長期的な価値を提供してまいります。

グラッドキューブは、左のグラフが示す通り、ストック性の高い事業に参入していくことで、成長性と安全性を両立させながら事業規模の拡大を目指してまいります。

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

事業概要とビジネスモデル マーケティングDX事業部



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

30

事業概要とビジネスモデル テクノロジー事業部



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

31

29 ページから 31 ページは、事業概要およびビジネスモデルになります。
記載の通りとなっておりますので、皆さまのほうでご確認をお願いいたします。

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

P/L

	2024年12月期 第2四半期 (中間期)	2025年12月期 第2四半期 (中間期)	前期比		通期予想	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	778百万円	863百万円	84百万円	10.9%	1,791百万円	48.2%
売上総利益	647百万円	593百万円	-53百万円	-8.2%	1,299百万円	45.7%
(利益率)	83.1%	68.8%	-14.3%		72.5%	
販売費及び一般管理費	752百万円	643百万円	-109百万円	-14.5%	1,347百万円	
営業利益	-105百万円	-49百万円	55百万円	—	-47百万円	—
経常利益	-108百万円	-52百万円	56百万円	—	-61百万円	—
当期純利益	-85百万円	-52百万円	32百万円	—	-62百万円	—

Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

32

2025 年 12 月期、第 2 四半期決算損益計算書です。
記載の通りとなっております。

B/S

(百万円)	2024年12月期 期末	2025年12月期 第2四半期 (中間期)
流動資産	2,308	1,977
現金及び預金	1,661	1,327
売掛金	415	418
前渡金	160	155
その他	71	76
固定資産	259	236
有形固定資産	32	28
無形固定資産	68	64
投資その他の資産	158	143
繰延資産	2	1
資産合計	2,570	2,215

(百万円)	2024年12月期 期末	2025年12月期 第2四半期 (中間期)
流動負債	1,265	1,089
買掛金	407	414
一年以内返済 長期借入金 等	272	261
未払金	108	75
その他	475	337
固定負債	555	427
負債合計	1,820	1,516
純資産合計	750	699
負債・純資産合計	2,570	2,215

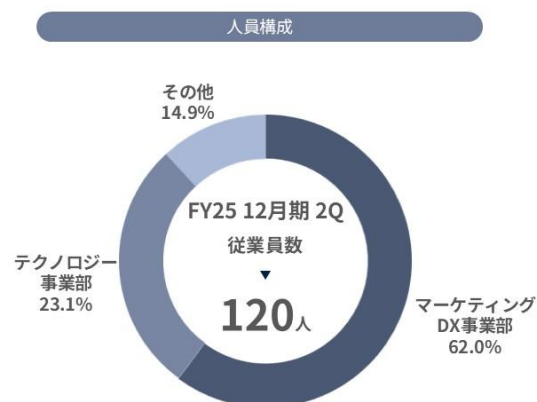
Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

33

2025 年 12 月期、第 2 四半期決算貸借対照表です。
こちらも記載の通りとなっておりますので、皆さまのほうでご確認をお願いいたします。

本件に関する問合せ先： IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>

経営資源 従業員数の推移

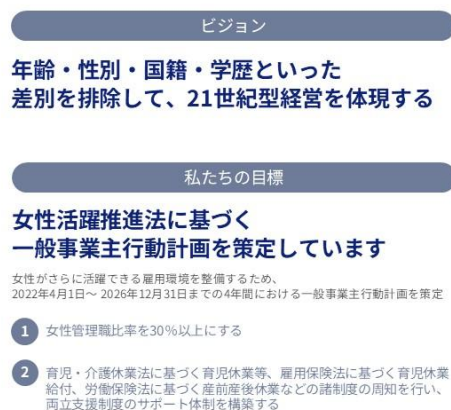


Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

34

経営資源、従業員数の推移について、記載の通りとなります。

経営資源 社会的責任（ESG）への取り組み



Copyright© Glad Cube Inc. All Rights Reserved.

35

経営資源、社会的責任 ESG への取り組みの説明となります。

第2四半期の取り組み状況については記載の通りになります。

本件に関する問合せ先：IR 問い合わせフォーム <https://corp.glad-cube.com/ir/inquiry/>



以上をもちまして、2025 年 12 月期第 2 四半期 株式会社グラッドキューブ決算補足説明を終了させていただきます。

ありがとうございました。

なお、免責事項につきましては、記載の通りとなりますので、ご確認の程よろしく願いたします。

以上